

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2020年4月9日
【四半期会計期間】	第67期第1四半期（自 2019年12月1日 至 2020年2月29日）
【会社名】	アスカ株式会社
【英訳名】	ASKA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	取締役社長 片山 義規
【本店の所在の場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理本部長 片山 義浩
【最寄りの連絡場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理本部長 片山 義浩
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第1四半期連結 累計期間	第67期 第1四半期連結 累計期間	第66期
会計期間	自2018年12月1日 至2019年2月28日	自2019年12月1日 至2020年2月29日	自2018年12月1日 至2019年11月30日
売上高 (千円)	8,056,287	7,229,139	32,355,315
経常利益 (千円)	432,015	357,136	1,460,674
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	331,497	303,792	1,046,841
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	283,653	229,998	991,951
純資産額 (千円)	6,746,647	7,473,626	7,409,204
総資産額 (千円)	32,887,788	32,291,563	33,042,632
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	58.06	53.21	183.35
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	20.5	23.1	22.4

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年2月29日まで）におけるわが国経済は、企業収益・雇用環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、米中貿易摩擦や海外の政治情勢の不安定化が継続していることに加え、新型コロナウイルスの世界的流行による世界経済の停滞や、株価や為替等の動向は不確定であり、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、より効率的な製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しましたが、当社においては厳しい環境が続きました。

売上につきましては、とくに自動車部品事業において、国内で部品売上と金型売上が減少した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、72億2,913万円（前年同四半期比10.3%減）となりました。

利益面につきましては、上記でご説明したとおり売上高が減収となったことなどにより、営業利益2億6,052万円（前年同四半期比32.4%減）となり、為替差益が、1,574万円増加し、営業外費用も減少しましたが、売上の減収を補うことができず、経常利益3億5,713万円（前年同四半期比17.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億379万円（前年同四半期比8.4%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

〔自動車部品事業〕

海外では、既存車種の増産による部品売上及び新車種の立ち上がりによる金型売上がともに増加しました。一方、国内では、新車種の立ち上がりがなかったため、部品売上及び金型売上がともに減少しました。この結果、当事業の売上高は52億9,035万円（前年同四半期比9.2%減）、営業利益は2億3,597万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。

〔配電盤事業〕

既存得意先の大口件名が増加した結果、当事業の売上高は8億2,672万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益は5,602万円（前年同四半期比76.3%増）となりました。

〔ロボットシステム事業〕

国内及び海外工場向けの自動化システムの受注が減少した結果、当事業の売上高は9億6,423万円（前年同四半期比28.1%減）、営業利益は3,887万円（前年同四半期比71.4%減）となりました。

〔モータースポーツ事業〕

イベント開催時期の変更及びコースの占有による売上が増加した結果、当事業の売上高は1億6,909万円（前年同四半期比15.9%増）、一方、1月にコースの改修により1ヶ月間休業した結果、営業損失は8,950万円（前年同四半期は6,135万円の損失）となりました。

〔賃貸及び太陽光事業〕

社内への賃貸売上が減少した結果、当事業の売上高は1億1,726万円（前年同四半期比2.0%減）、営業利益は1,860万円（前年同四半期比22.3%減）となりました。

財政状態は、次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、105億3,374万円で前連結会計年度末に比べ6億3,573万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が3億1,677万円、受取手形及び売掛金が4億5,801万円減少したことによるものであります。固定資産は217億5,781万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1,533万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が2億3,635万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、322億9,156万円で前連結会計年度末に比べ7億5,106万円の減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、130億1,965万円で前連結会計年度末に比べ8億4,916万円減少いたしました。これは主に電子記録債務が4億8,036万円、その他が4億4,095万円減少したことによるものであります。固定負債は、117億9,828万円となり前連結会計年度末に比べ3,367万円増加いたしました。これは主に長期借入金が7,858万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、248億1,793万円となり、前連結会計年度末に比べ8億1,549円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、74億7,362万円となり前連結会計年度末に比べ6,442万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が1億3,821万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、23.1%（前連結会計年度は22.4%）となりました。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費は1,486万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等が行われておりません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年2月29日)	提出日現在発行数(株) (2020年4月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,715,420	5,715,420	名古屋証券取引所(市場 第二部)	単元株式数100株
計	5,715,420	5,715,420	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年12月1日～ 2020年2月29日	-	5,715,420	-	903,842	-	901,555

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年11月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,708,900	57,039	-
単元未満株式	普通株式 720	-	-
発行済株式総数	5,715,420	-	-
総株主の議決権	-	57,039	-

(注) 証券保管振替機構名義の株式5,000株は、完全議決権株式(その他)欄の株式数に含まれておりますが、同機構名義に係る議決権50個は、同欄の議決権の数には含まれておりません。

【自己株式等】

2020年2月29日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
アスカ(株)	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地	5,800	-	5,800	0.10
計	-	5,800	-	5,800	0.10

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年12月1日から2020年2月29日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人コスモスによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,884,213	1,567,436
受取手形及び売掛金	1 5,714,952	1 5,256,935
商品及び製品	171,091	200,389
仕掛品	1,990,717	2,155,309
原材料及び貯蔵品	326,574	359,610
その他	1,081,929	994,066
流動資産合計	11,169,479	10,533,747
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,136,215	8,127,101
機械装置及び運搬具(純額)	4,572,687	4,459,579
土地	5,713,503	5,732,847
その他(純額)	895,281	1,036,397
有形固定資産合計	19,317,687	19,355,925
無形固定資産		
のれん	107,913	95,923
その他	28,399	29,682
無形固定資産合計	136,313	125,605
投資その他の資産		
投資有価証券	1,500,878	1,264,520
その他	918,273	1,011,764
投資その他の資産合計	2,419,152	2,276,284
固定資産合計	21,873,152	21,757,815
資産合計	33,042,632	32,291,563
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 3,041,142	1 2,995,530
電子記録債務	1 2,563,510	1 2,083,144
短期借入金	3,160,000	3,250,000
1年内返済予定の長期借入金	2,895,156	2,876,331
リース債務	105,683	108,868
未払法人税等	225,015	122,141
賞与引当金	51,899	198,178
その他	1,826,413	1,385,461
流動負債合計	13,868,820	13,019,655
固定負債		
長期借入金	10,021,147	10,099,735
リース債務	490,674	451,028
役員退職慰労引当金	373,665	378,665
退職給付に係る負債	794,675	784,786
その他	84,442	84,064
固定負債合計	11,764,606	11,798,281
負債合計	25,633,427	24,817,937

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	900,444	900,444
利益剰余金	5,038,553	5,176,769
自己株式	3,633	3,633
株主資本合計	6,839,207	6,977,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	543,593	379,889
為替換算調整勘定	2,806	89,648
退職給付に係る調整累計額	25,298	22,150
その他の包括利益累計額合計	566,084	491,688
非支配株主持分	3,913	4,514
純資産合計	7,409,204	7,473,626
負債純資産合計	33,042,632	32,291,563

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
売上高	8,056,287	7,229,139
売上原価	7,169,600	6,450,371
売上総利益	886,687	778,768
販売費及び一般管理費	501,477	518,239
営業利益	385,209	260,528
営業外収益		
受取利息	758	2,403
受取配当金	14,447	15,294
為替差益	60,866	76,608
その他	51,248	39,345
営業外収益合計	127,320	133,651
営業外費用		
支払利息	22,100	17,750
固定資産除売却損	23,592	-
その他	34,822	19,293
営業外費用合計	80,515	37,044
経常利益	432,015	357,136
税金等調整前四半期純利益	432,015	357,136
法人税、住民税及び事業税	127,392	75,798
法人税等調整額	27,204	22,883
法人税等合計	100,187	52,914
四半期純利益	331,828	304,221
非支配株主に帰属する四半期純利益	330	428
親会社株主に帰属する四半期純利益	331,497	303,792

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	331,828	304,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106,702	163,703
為替換算調整勘定	55,907	92,628
退職給付に係る調整額	2,620	3,147
その他の包括利益合計	48,174	74,223
四半期包括利益	283,653	229,998
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	283,188	229,396
非支配株主に係る四半期包括利益	465	601

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債務

四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債務の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理しております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日のため、次の四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債務が、四半期連結会計期間末日残高に含まれておりません。

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
受取手形	37,730千円	74,125千円
支払手形	14,933	16,041
電子記録債務	482,017	529,511

2. 保証債務

次の会社の借入等に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当連結会計年度 (2020年2月29日)
N&Aテック株式会社(連帯保証)	176,000千円	176,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
減価償却費	368,213千円	379,786千円
のれんの償却額	11,990	11,990

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月27日 定時株主総会	普通株式	108,482	19	2018年11月30日	2019年2月28日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月27日 定時株主総会	普通株式	165,576	29	2019年11月30日	2020年2月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	配電盤事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	賃貸及び太 陽光事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高								
外部顧客への売上高	5,824,033	747,344	1,315,029	145,915	23,966	8,056,287	-	8,056,287
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	15,563	25,229	-	95,747	136,539	136,539	-
計	5,824,033	762,907	1,340,258	145,915	119,713	8,192,827	136,539	8,056,287
セグメント利益 又は損失()	254,567	31,782	135,715	61,354	23,957	384,669	540	385,209

(注) 1. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失()の調整額540千円は、セグメント間取引消去であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	配電盤事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	賃貸及び太 陽光事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高								
外部顧客への売上高	5,290,355	778,081	963,685	169,098	27,917	7,229,139	-	7,229,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	48,644	554	-	89,349	138,547	138,547	-
計	5,290,355	826,726	964,239	169,098	117,266	7,367,687	138,547	7,229,139
セグメント利益 又は損失()	235,978	56,027	38,877	89,502	18,607	259,988	540	260,528

(注) 1. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失()の調整額540千円は、セグメント間取引消去であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり四半期純利益金額	58円6銭	53円21銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	331,497	303,792
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	331,497	303,792
普通株式の期中平均株式数(株)	5,709,606	5,709,547

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年4月8日

アスカ株式会社

取締役会 御中

監査法人コスモス

代表社員
業務執行社員

公認会計士 富田 昌樹 印

業務執行社員

公認会計士 相羽 美香子 印

業務執行社員

公認会計士 長坂 尚徳 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアスカ株式会社の2019年12月1日から2020年11月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年12月1日から2020年2月29日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アスカ株式会社及び連結子会社の2020年2月29日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。